

JSW

第90期中間報告書

2015年4月1日 ▶ 2015年9月30日

CONTENTS

株主の皆様へ …… 1	TOPICS …… 7
事業別の概況 …… 3	会社概要 …… 9
連結財務諸表 …… 5	株主メモ …… 裏表紙



株式
会社

日本製鋼所

証券コード：5631

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の第90期中間報告書

(2015年4月1日~2015年9月30日)を

お届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

代表取締役社長

佐藤育男



当中間期の業績

当中間期における海外経済は、一部に弱さがみられるものの全体としては緩やかな景気回復が続きました。中国を始めアジア新興国に景気減速がみられましたが、米国では雇用・所得環境の改善を背景に、堅調な個人消費を中心とする景気拡大が継続、また欧州でも堅調な個人消費が寄与し緩やかな景気回復が続きました。一方、わが国経済は、一部に弱い動きがあるものの、企業収益や雇用・所得環境の改善などを背景に、緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、本年5月に策定した2017年度までの3か年の新中期経営

計画（JGP2017）に沿って、顧客のバリューチェーンの要衝においてトップシェアを目指す「グローバル&ニッチトップ企業グループへの飛躍」を目標に、①現有事業の収益力拡大、②新製品・新規事業の育成・早期戦力化、③グループ経営の強化とアライアンスの推進を基本方針とした事業活動を推進しております。

当社グループにおける当中間期の業績につきましては、受注高は、産業機械事業が増加したものの、素形材・エネルギー事業が減少したことにより、962億80百万円（前年同期比5.5%減）となりました。売上高は、素形材・エネルギー事業が減少したものの、産業機械事業が伸長したことにより、946億67百万円（前年同期比0.5%増）

となりました。損益面では、営業利益は50億50百万円（前年同期比37.5%増）、経常利益は53億58百万円（前年同期比10.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は32億46百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失73億49百万円）となりました。

期初予想との差異及び通期業績見通し

当中間期の業績につきましては、期初予想に比し、売上高が減少したものの、産業機械事業でのコスト改善などが寄与し、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が増加いたしました。

通期の業績予想につきましては、当中間期における実績を踏まえ、売上高は2,100億円、営業利益は105億円、経常利益は110億円、親会社株主に帰属する当期純利益は67億円を見込んでおります。

期初の発表通り、中間配当2.5円を実施

当社は、株主の皆様への安定的かつ継続的な配当の実施とその向上を基本姿勢としております。

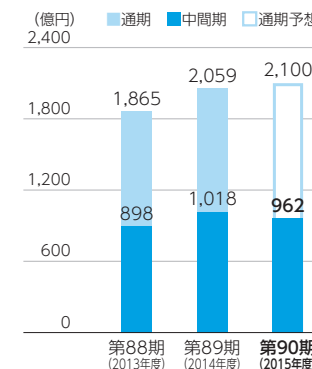
また、企業価値及び株主価値の向上のため、現有事業の安定的な収益力の確保と新事業・新製品伸長に向けた設備投資、研究開発投資を進めるほか、財務体質の改善にも努めてまいります。

当期の年間配当は、上記方針に基づき、中間決算及び通期業績見通しを勘案し、1株当たり5円を予定し、中間配当として1株につき2.5円とさせていただきます。

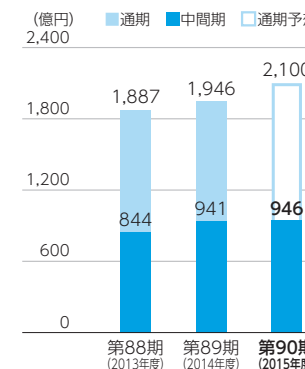
株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2015年12月

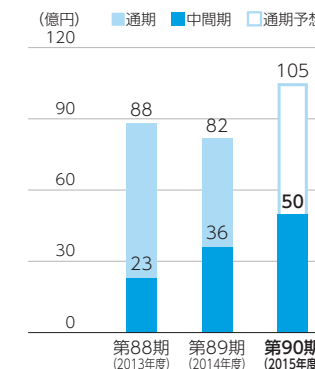
受注高の推移



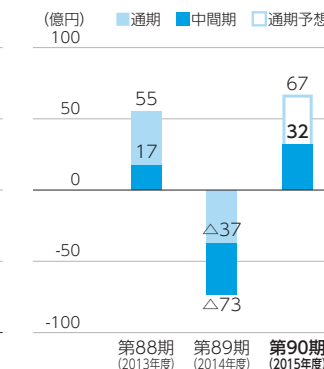
売上高の推移



営業利益の推移

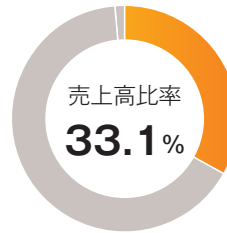


親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益の推移



事業別の概況

素形材・エネルギー事業



受注高 180億円
前年同期比 237億円減、56.9%減

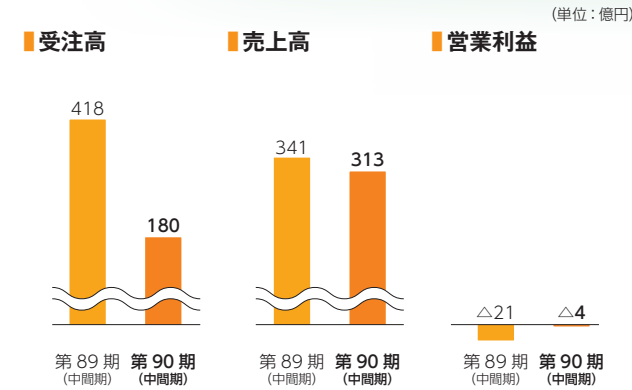
売上高 313億円
前年同期比 28億円減、8.2%減

営業損失 4億円
前年同期比 17億円改善

受注高は、前年同期に大型案件の受注があったクラッド鋼管が反動減となったほか、電力・原子力製品が減少したことなどから、180億43百万円(前年同期比56.9%減)となりました。

売上高は、クラッド鋼管が増加したものの、電力・原子力製品、風力発電機が減少したことなどから、313億円(前年同期比8.2%減)となりました。

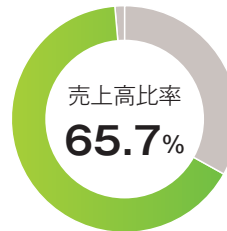
営業損失は、クラッド鋼管の売上増加など売上製品構成の変化に伴う粗利増加や、原油安をはじめとする原材料費の低下などから、損失幅は改善し、営業損失4億48百万円(前年同期は営業損失21億63百万円)となりました。



主要な事業内容

- 電力・原子力製品**
発電用品、原子力関連機材等の製造・販売
- 石油精製用圧力容器**
石油精製・石油化学・一般化学用品、化学機械用品等の製造・販売
- クラッド鋼板・鋼管**
クラッド鋼板、クラッド鋼管、その他極厚鋼板等の製造・販売
- 風力発電機**
風力発電機の製造・販売・保守
- その他**
鉄鋼用品、金型材等の製造・販売
- **主要な工場**
室蘭製作所(北海道室蘭市)

産業機械事業



受注高 770億円
前年同期比 180億円増、30.5%増

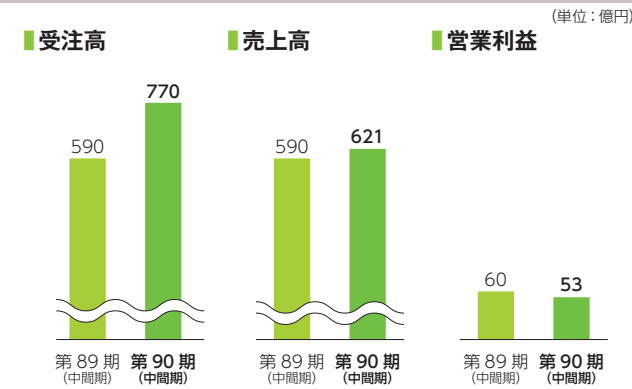
売上高 621億円
前年同期比 31億円増、5.3%増

営業利益 53億円
前年同期比 6億円減、11.1%減

受注高は、樹脂製造・加工機械、レーザーアニール装置及び圧縮機が増加したことに加え、成形機の受注が好調に推移したことにより、770億57百万円(前年同期比30.5%増)となりました。

売上高は、樹脂製造・加工機械及び成形機の売上が増加したことから、621億87百万円(前年同期比5.3%増)となりました。

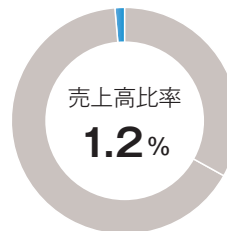
営業利益は、樹脂製造・加工機械関連の部品の売上ズレなどにより、53億80百万円(前年同期比11.1%減)となりました。



主要な事業内容

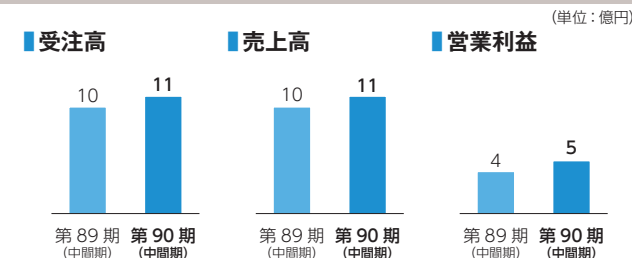
- 樹脂製造・加工機械**
樹脂製造・加工機械(造粒機、コンパウンド用押出機、フィルム・シート製造装置等)の製造・販売
- 成形機**
プラスチック射出成形機、中空成形機の製造・販売
- その他**
圧縮機、油圧機器、電子部品・ディスプレイ製造関連機器(レーザーアニール装置・薄膜成膜装置等)、マグネシウム合金射出成形機、各種連結器・緩衝器、防衛関連機器等の製造・販売・修理
- **主要な工場**
広島製作所(広島県広島市安芸区)
横浜製作所(神奈川県横浜市金沢区)

不動産その他事業



受注高 11億円
売上高 11億円
営業利益 5億円

受注高は11億79百万円、売上高は11億79百万円、営業利益は5億38百万円となりました。



主要な事業内容

- 不動産賃貸等**
不動産賃貸事業、業務支援・管理サービス事業等

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前期 2015年3月31日現在	当中間期 2015年9月30日現在
POINT ① 資産の部		
流動資産	191,523	207,901
固定資産	129,560	125,017
有形固定資産	82,775	83,077
無形固定資産	718	1,828
投資その他の資産	46,065	40,111
資産合計	321,083	332,919
POINT ② 負債の部		
流動負債	145,349	133,093
固定負債	35,912	63,700
負債合計	181,261	196,793
POINT ③ 純資産の部		
株主資本	129,305	128,871
資本金	19,694	19,694
資本剰余金	5,425	5,425
利益剰余金	104,916	107,422
自己株式	△731	△3,670
その他の包括利益累計額	8,839	5,081
その他有価証券評価差額金	9,195	5,430
繰延ヘッジ損益	△194	△345
為替換算調整勘定	239	265
退職給付に係る調整累計額	△399	△269
非支配株主持分	1,676	2,172
純資産合計	139,821	136,125
負債純資産合計	321,083	332,919

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前中間期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	当中間期 2015年4月1日から 2015年9月30日まで
売上高	94,183	94,667
売上原価	76,696	75,775
売上総利益	17,486	18,891
販売費及び一般管理費	13,814	13,841
POINT ④ 営業利益	3,672	5,050
営業外収益	1,516	822
営業外費用	345	514
経常利益	4,843	5,358
特別利益	222	29
特別損失	16,065	200
税金等調整前四半期純利益(△は損失)	△10,999	5,187
法人税、住民税及び事業税	1,933	1,378
法人税等調整額	△5,697	470
非支配株主に帰属する四半期純利益	114	93
POINT ⑤ 親会社株主に帰属する四半期純利益(△は損失)	△7,349	3,246

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前中間期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	当中間期 2015年4月1日から 2015年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,500	7,645
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,736	△6,771
財務活動によるキャッシュ・フロー	△770	17,071
現金及び現金同等物に係る換算差額	171	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,836	17,943
現金及び現金同等物の期首残高	42,297	49,152
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	498	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,959	67,096

POINT! ポイント解説

POINT ① 資産の部

資産合計は、前期末比118億35百万円増加し、3,329億19百万円となりました。これは主に、現金及び預金や仕掛品などの流動資産が増加したためであります。

POINT ② 負債の部

負債合計は、前期末比155億31百万円増加し、1,967億93百万円となりました。これは主に、長期借入金などの固定負債が増加したためであります。

POINT ③ 純資産の部

純資産合計は、前期末比36億95百万円減少し、1,361億25百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が減少したためであります。この結果、自己資本比率は40.2%（前期末は43.0%）となりました。

POINT ④ 営業利益

営業利益は、素形材・エネルギー事業における損失幅の改善により、前年同期比13億78百万円増加しました。

POINT ⑤ 親会社株主に帰属する四半期純利益

親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失として風力事業損失引当金繰入額を計上した前年同期に比べ、105億95百万円増加しました。

詳細はWEBサイトをご参照ください。

当社は、半期毎の報告書の他、IR説明会資料やアニュアルレポート等をホームページに掲載し、株主の皆様を始め投資家の皆様への情報提供に努めております。各種IRツールは、下記URL（当社ホームページ／株主・投資家情報ページ）にてご覧いただけます。

<http://www.jsw.co.jp/ir/>

日本製鋼所 IR

検索



クラッド鋼管

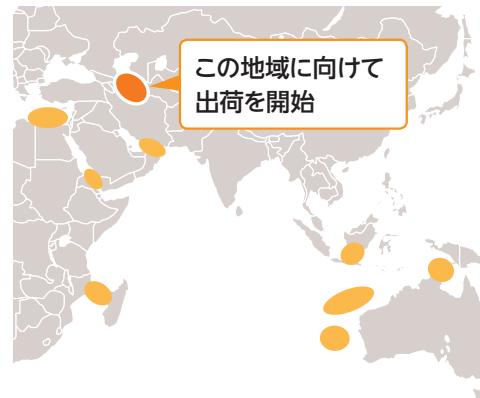
大口受注案件への出荷を開始

昨年度に大口受注したクラッド鋼管の出荷が始まっています。このクラッド鋼管は中央アジアで開発中のプロジェクトにおける天然ガスのパイプラインに使用されます。

これらは順次室蘭港より船積みし出荷されており、今年度中に出荷が完了する見込みです。

天然ガス開発プロジェクトは現在、世界各地で計画されていますが、当社は累積出荷高において世界でも高いシェアを占めるクラッド鋼管のリーディングカンパニーとして、引き続き新たな受注獲得に注力してまいります。

計画中の天然ガスプロジェクト



船積み風景

レーザーアニール装置

今年度に過去最高の受注を達成する見込み

当社が製造・販売するエキシマレーザーアニール(ELA)装置は、高精細液晶パネルや有機EL等の製造工程で用いられており、国内・海外とも圧倒的なシェアを占める当社の主力製品のひとつとなっています。

中国では、近年、高精細液晶パネルの製造技術が向上しており、政府の液晶産業振興策も相まって、液晶最新鋭工場の立ち上げが活発になっています。これに伴い、ELA装置の需要が急拡大しており、ELA装置の受注高は今年度に過去最高を達成する見込みです。

なお、ELA装置を製造する横浜製作所の生産能力増強を目的に、クリーンルームを拡張いたしました。これにより、生産能力が30%向上しております。

フィルム・シート製造装置

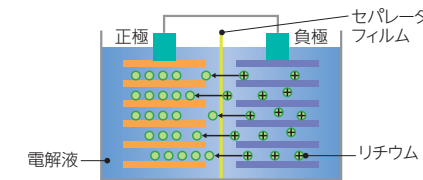
セパレータフィルム製造用途での受注が急増

当社は、逐次延伸や同時延伸といったフィルム製造技術をフルラインアップで有しており、一般包装材や工業部材などお客様の様々なニーズ・用途に幅広く対応することが可能となっています。

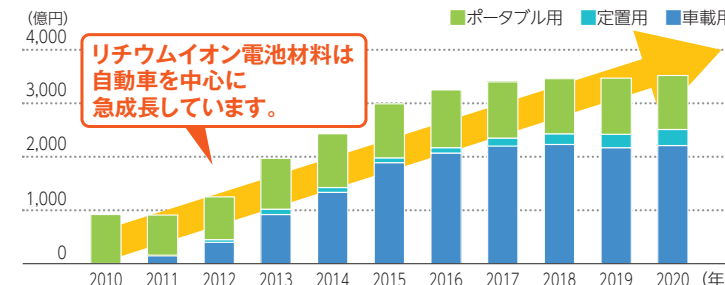
近年、工業部材の中で特に注目されているものの一つがセパレータフィルムです。これはハイブリッド車や電気自動車等に搭載されるリチウムイオン電池に不可欠な材料で、当社はこの製品の製造装置において世界シェア70%以上を占めています。

環境にやさしい乗り物として電気自動車等の普及は今後大きく進むと予想されており、リチウムイオン電池の市場も近年急拡大しています。このような中で、セパレータフィルムの増産に向けた設備投資が極めて旺盛となっており、セパレータフィルム製造用途のフィルム・シート装置の受注が急増しています。

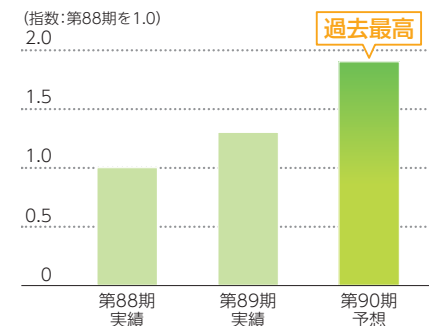
リチウムイオン電池の構造図



リチウムイオン電池材料市場予測



受注推移



高精細なディスプレイとは?

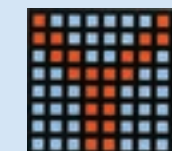
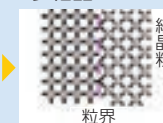
低温ポリシリコン(LTPS)や有機EL(OLED)等があり、スマートフォンやタブレット端末、デジタルカメラ等のディスプレイとして用途が広がっています。

非晶質シリコン



ELA装置でガラス基板上のシリコンを均一かつ正確にレーザー照射することで、シリコンが多結晶化されます。

多結晶シリコン



シリコンが多結晶化されることで、画質が高精細になります。

会社概要

会社の概要 (2015年9月30日現在)

創 業 1907(明治40)年11月1日
 設 立 1950(昭和25)年12月11日
 資 本 金 196億9,423万561円
 従 業 員 数 単体:2,334名
 (就業人員数) 連結:5,309名

取締役及び監査役 (2015年9月30日現在)

代表取締役社長 佐藤 育男
 代表取締役副社長 田中 義友
 取締役専務執行役員 門田 彰
 取締役専務執行役員 清水 信明
 取締役常務執行役員 渡邊 健二
 取締役常務執行役員 東泉 豊
 取締役(社外) 佐藤 元信
 常勤監査役 岩下 壽夫
 常勤監査役 水谷 豊
 常勤監査役(社外) 河上 守
 監査役(社外) 城野 和也

執行役員(取締役兼務者を除く) (2015年9月30日現在)

専務執行役員 北村 和夫 上席執行役員 清水 誠
 常務執行役員 濱尾 博 上席執行役員 折田 勝利
 常務執行役員 小野 信市 執行役員 大下 真雄
 常務執行役員 石橋 義尚 執行役員 村上 博司
 常務執行役員 藤村 浩 執行役員 香川 豊彦
 常務執行役員 宮内 直孝 執行役員 出口 淳一郎
 常務執行役員 柴田 尚

(注) 当社は、取締役 佐藤元信氏並びに監査役 河上守氏及び城野和也氏を東京証券取引所及び名古屋証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、両取引所に届け出ております。

株式の状況 (2015年9月30日現在)

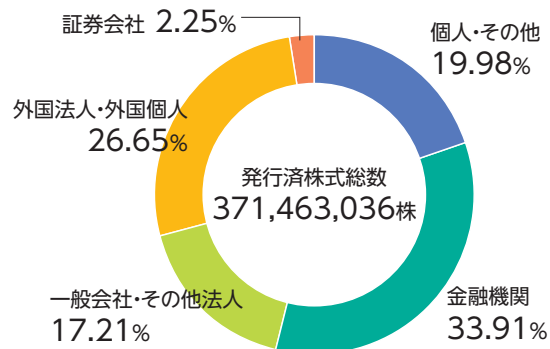
発行可能株式総数 1,000,000,000株
 発行済株式総数 371,463,036株
 株 主 数 26,299名

大株主 (2015年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	23,694	6.49
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	14,697	4.03
三井生命保険株式会社	14,138	3.87
株式会社三井住友銀行	12,550	3.44
ジユニパー	9,013	2.47
三井住友海上火災保険株式会社	8,824	2.42
三井住友信託銀行株式会社	8,152	2.23
ピーピーエイチザアドバイザーズインナーサークルファンド ツークベルニクグローオールキャップファンド	6,609	1.81
新日鐵住金株式会社	6,530	1.79
株式会社日立製作所	5,050	1.38

(注) 持株比率は、発行済株式総数から自己株式(6,366,925株)を控除して計算しております。

所有者別分布状況 (2015年9月30日現在)



ネットワーク (2015年12月1日現在)

● 本社

東京都品川区大崎一丁目11番1号
 TEL. (03)5745-2001(大代表)
 FAX. (03)5745-2025

● 支店・営業所

名古屋支店(名古屋市中区)
 関西支店(大阪市西区)
 中国支店(広島市安芸区)
 九州支店(春日市)
 東北営業所(仙台市宮城野区)
 関東営業所(さいたま市)
 関西営業所(吹田市)
 府中出張所(府中市)
 浜松出張所(浜松市中区)

● 研究所

室蘭研究所(室蘭市)
 広島研究所(広島市安芸区)
 横浜研究所(横浜市金沢区)

● 工場

室蘭製作所(室蘭市)
 広島製作所(広島市安芸区)
 横浜製作所(横浜市金沢区)

● 主な国内子会社

JSW ITサービス株式会社
 JSWアフティ株式会社
 ファインクリスタル株式会社
 株式会社タハラ
 株式会社ニップラ
 エムジープレジジョン株式会社
 日鋼YPK商事株式会社
 株式会社名機製作所
 日鋼特機株式会社

● 海外拠点

アメリカ Japan Steel Works America, Inc.
 JSW Plastics Machinery, Inc.
 インド JAPAN STEEL WORKS INDIA PRIVATE LIMITED
 インドネシア PT. JSW Plastics Machinery Indonesia
 韓国 JSW IT KOREA CO., LTD.
 SM PLATEK CO., LTD.
 シンガポール THE JAPAN STEEL WORKS (SINGAPORE) PTE. LTD.
 タイ The Japan Steel Works (Thailand) Co., Ltd.
 台湾 JSW Plastics Machinery (TAIWAN) Corp.
 中国 Fine Crystal (H.K.) Co., Ltd.
 Fine Crystal Precision (S.Z.) Co., Ltd.
 JSW Machinery Trading (Shanghai) Co., Ltd.
 JSW Plastics Machinery (H.K.) Co., Ltd.
 JSW Injection Machine Maintenance (Shenzhen) Co., Ltd.
 NINGBO TONGYONG PLASTIC MACHINERY MANUFACTURING CO., LTD.
 JSW Machinery (Ningbo) Co., Ltd.
 Y P K TRADING (HONG KONG) CO., LTD.
 Y P K Machine Trading (Shenzhen) Co., Ltd.
 ドイツ Japan Steel Works Europe GmbH
 フィリピン JSW Plastics Machinery (Philippines) Inc.
 ベトナム JSW Plastics Machinery Vietnam Ltd.
 マレーシア JSW Plastics Machinery (M) SDN. BHD.

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告掲載方法	電子公告 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	東京(1部)、名古屋(1部)

株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

配当金のお受取り方法について

配当金を配当金領収証でお受取りの株主様には、確実に配当金をお受取りいただける口座振込のご利用をおすすめいたします。ご希望の株主様は、お取引の証券会社（特別口座に記録されている株主様は特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社）へ所定の用紙をご請求の上、お申込みください。

ホームページのご案内

当社の企業活動、製品などに関する詳しい情報につきましては、「株式会社日本製鋼所ホームページ」でご覧いただけます。こちらもどうぞご利用ください。

<http://www.jsw.co.jp/>



日本製鋼所

検索

2016年 IRスケジュール

- 2月上旬 ● 第3四半期決算発表
- 5月上旬 ● 通期決算発表
- 6月下旬 ● 定時株主総会開催
- 期末配当金お支払い
- 第90期報告書発行



この報告書は、環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。